

事業名	① 防災行政無線管理事業	担当部署	総務部・総務課・危機管理担当
-----	--------------	------	----------------

市の取組への評価・課題	具体的な対応策・提案	コーディネーターによる意見のまとめ
【評価○】 ・地震や大型台風など、大規模災害が多発する中、市民の安全を確保するために優先順位の高い事業である。	・デジタル化等の最新設備を入れ、状況がよくなる機会にあわせ、地域で防災計画を策定する等の防災意識が高まる施策を打ったかどうか。 ・「防災」や「お知らせ」等の情報の種類によってチャイムの種類を変えるなど、情報内容がわかるようにしたら良い。 ・企業のBCPに絡めて、企業へ受信機を貸与することで情報交換を行う等に取り組んでいる地域がある。官民で連携して何かできないか検討してみてもどうか。 ・情報の信頼性確保の観点から、情報が流れない間に流布するデマ情報などへの対応も必要である。	・防災行政無線管理事業だけでなく、地域防災力強化全体の流れの中での意見・提案が多かった。 ・また、難聴地域についての意見も多く見受けられたので、今後の対応の検討と尽力をお願いしたい。 ・現在、自主防災計画が2地区で進められているということだが、これまでに起こった災害についても、地域の力で助かったという話もある。市民の意識を高めていくことに力を入れていくことが重要だと考える。
【評価△】 ・防災無線からは様々な情報が流れてくるので、本当に重要な情報について、市民が重要性に気づけないことがある。 ・必要性については理解できるが、金額の大きい事業でもあるため、効果・改善点や政策・施策への反映点を、市民に対してより深く理解できるよう提示するべき。	・伝達手段として、防災無線だけでは限界があると思われるので、他の手段についても引き続き検討を続けていただきたい。 ・防災メールについては、登録する手段をホームページや広報に掲載する等に加え、大学の掲示板に掲示すれば学生の登録者は増加すると思われる。	
【課題】 ・防災に対する市民の関心を高める必要がある。 ・デジタル化に合わせて、防災無線（防災放送）の使い方を見直すことも必要ではないか。 ・アナログの防災ラジオが使えなくなるようだが、これに対しての対応が必要。		